

# 令和5年度 事業報告

## I. 事業運営目的

法人定款第1条の事業運営の目的である「利用者が、個人の尊厳を保持しつつ、自立した生活を地域社会において営むことができるよう支援することを実現するため、各事業に取り組んだ。

## II. 主な実施事業

### 【ケアハウス巣子拠点区分】

#### 【第1種社会福祉事業】

#### ・軽費老人ホームケアハウス事業

事業目標に対しての評価

事業目標	事業方針	評価
入居者が安心して暮らせるようコミュニケーションを重視し、個々を尊重した支援を行います。	<p>① 入居者の健康管理や予防を図り、体調不良や異常の早期発見に努めます。</p> <p>② 定期的にコミュニケーションを図る機会を持ち、自主性や生活観を尊重し、個々のニーズに合わせたきめ細やかなサービス提供に努めます。</p> <p>③ 市町村及び、医療、福祉サービスの関係機関と密接な連携を図ります。</p>	<p>① 日々の検温と毎月の健康チェックを継続し、早期発見に努めることができた。</p> <p>② 毎月の懇談会やサロンの開催、日々の訪室を通してコミュニケーションをとることができた。</p> <p>③ 多くのサービス事業所の訪問があり、顔の見える関係で近況報告や相談ができています。今後は今以上に直接対応が可能となると思われる。</p>



### (1) 入居者の確保への取り組み / 要支援・要介護の状況

入居者定員数 20 名の維持確保に取り組んだ結果、月平均 19.9 名の実績を得た。

入居者の推移

定員：20名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
未認定	60	62	60	62	62	60	62	66	93	93	87	93	860	71.7
要支援1	60	62	60	39	62	60	63	90	93	93	87	124	893	74.4
要支援2	180	186	180	217	217	210	217	210	217	217	203	217	2,471	205.9
要介護1	180	186	210	209	186	150	155	144	124	124	116	124	1,908	159.0
要介護2	60	62	60	62	62	90	63	30	31	31	29	31	611	50.9
要介護3	60	62	30	31	31	30	31	60	62	62	58	31	548	45.7
要介護4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
要介護5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
合計	600	620	600	620	620	600	591	600	620	620	580	620	7,291	607.6
前年度	595	607	600	620	620	600	620	587	620	620	560	310	6,959	579.9
平均介護度	1.0	1.0	0.9	0.8	0.8	0.9	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.7		0.8

### (2) 入退居の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
入居	0	0	0	1	0	0	1	1	0	0	0	1	4	0.3
退居	0	0	0	1	0	0	1	1	0	0	1	0	4	0.3

(主な入居理由) 独居や高齢世帯、日々の生活に不安があり家族も心配

(主な退居理由) 長期入院、常時介護が必要になった

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
死亡	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
長期入院	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	2	0.2
他施設	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	2	0.2
家庭復帰	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

### (3) 提供サービス充実への取り組み

入居者の日常生活における自立性を高め、集団生活内での社会参加を重視しながら以下の項目で支援を実施した。

#### ① 食事の提供

- 嗜好や食事に関するアンケートを行い、意見や感想の収集に努めた
- 行事やイベント後にアンケートを実施し、同様の行事の参考とした

#### ② 入浴の準備

- 週5日の入浴準備（火・日曜日を除く）
- 午後1時から3時半まで男性浴を女性専用浴に設定した
- 冬期間は床暖房、脱衣所内の暖房管理を行った

③ 緊急時の対応

- 職員が入居者の自室からのコールに24時間対応
- 随時、職員が病院等へ送迎
- 緊急時の家族および他事業所との連携

④ 健康相談・各種生活相談

- 職員による体重測定、血圧測定、体調の相談（毎月1回）
- 職員による生活上の不安や悩み解消のための相談
- 自立支援のための相談および情報提供と他事業者等連携

⑤ 通院援助

- 近隣の医療機関への送迎

⑥ 娯楽行事等の実施

- 小売店等へのショッピング（代行含む）（週1回）
- レクリエーション、行事などの開催（毎月）

（年間行事）

実施月	行事名	内容
4月	お花見ドライブ（一般）	小岩井や高松方面に出かけた。小岩井方面ではアイスクリームを食べた。
5月	サロン「運動不足解消講座」（一般）	外出の機会が減ってきており、運動不足や身体機能低下傾向のため、居室で出来る運動講座を実施。居室でもできると好評だった。
	行楽ドライブ（介護付）	景色を見て、季節の訪れを感じる。
	行楽仕出し弁当（介護付）	豪華仕出し弁当で外食気分を味わった。
	百寿祝賀記念品贈呈式（介護付）	家族・自治体・施設と連携して100歳の節目を祝った。
6月	昔懐かしいお菓子を作ろう！（介護付）	お菓子を作りながら、入居者同士の交流を深めた。
	サロン「食中毒について」（一般）	栄養士による食中毒講座を実施。気温や湿度が高くなる時期の体調管理や衛生管理等の勉強会を開催した。
7月	どら焼き作り（介護付）	出来立てのおやつを食べ、歓談した。
	サロン「熱中症について」（一般）	看護師が熱中症のリスクや予防について講演した。特に暑さが続いていたため、真剣に講聴された。
	納涼会（一般） 納涼会（介護付）	ゲーム・抽選会・屋台へ参加する。職員余興「よさこい踊り」、「さんざ踊り」を鑑賞し、「輪踊り」に参加した。
8月	サロン「漏らさん尿講座」（一般）	失禁などについて、原因や予防方法について包括職員から講義を受けた。
	盆前ショッピング（一般）	渋民イオンへ行き、お盆前のお供えや花等を購入した。
8月	わくわく運動会（介護付）	紅白チーム対抗で、玉入れや輪繋ぎゲーム等で体を動かした。

	出前ラーメン ランチ会（介護付）	地域のラーメン屋さんから出前を取り、外食気分を味わった。
9月	長寿を祝う会（一般）	年祝い入居者へ居宅、包括職員から祝辞と施設から記念品が贈られた。
	長寿を祝う会（介護付）	年祝い入居者へ記念品贈呈、上半期行事のビデオ鑑賞を行った。
10月	紅葉ドライブ（一般）	紅葉を楽しみながら、玄武岩～小岩井方面ではアイスクリーム、道の駅「にしね」方面では、ほうれん草ソフトクリームを食べた。
	紅葉ドライブ&行楽弁当（介護付）	車窓から景色を見て季節を感じ、仕出し弁当を食べ行楽気分を味わった。
11月	三寿司出前行事（一般）	寿司の出前をとり、豪華な寿司を食べた。「美味しい。」と好評だった。
	三寿司出前行事（介護付）	毎年恒例、寿司の出前をとった。豪華な昼食に「満足した。」と好評だった。（希望者）
12月	クリスマス大忘年会（一般）	紅白歌合戦を開催し、クリスマスケーキを食べた。クリスマスプレゼントの綿毛布は好評だった。
	クリスマス大忘年会（介護付）	ビデオ上映会、余興のハンドベル演奏、ビンゴ大会を行った。ビンゴ大会は大いに盛り上がった。
	冬至の会（一般）	ゆず湯で季節を味わった。ゆずの香りがとても好評だった。
	サロン「はじめよう健口生活」（一般）	看護師から口腔ケアについて、病気リスクや予防ケアなどの勉強会を行った。
1月	新年交賀会（一般）	恒例の書初めや事業所代表者、入居者から挨拶が行われた。書初めや祝い膳は好評だった。
	新年交賀会（介護付）	施設長が新年の挨拶をし、入居者で交賀会を行った。獅子舞の登場は好評だった。
2月	節分行事（一般）	節分クイズや輪投げのレクリエーションを行った。
	節分・豆まき（介護付）	職員が扮したアマビエと鬼が登場。鬼に豆をぶつけ、邪気を払った。
	サロン 冬の体調管理について（一般）	冬に「気をつけたい体調管理」についての勉強会を開催した。
3月	桃の節句会（一般）	お雛さまクイズを行い、甘酒やお菓子も好評だった。カラオケ大会は大いに盛り上がった。
	ひな祭り（介護付）	甘酒とケーキで桃の節句を祝った。

【その他の行事】

- 一 般…誕生会、懇談会（月一回）、サロン（毎月末）  
     ショッピング（週一回）、移動販売とくし丸（毎週火曜日）、移動販売マルシェ（毎週金曜日）
- 介護付…ショッピング（月二回）、誕生会、懇談会（月一回）  
     音楽を楽しむ会（毎週水曜日）

（4）地域と交流促進

ボランティアとの親交や、地域との交流促進への取り組み

実施月	団体名	内 容
4～6月	巣子保育園	園児が来設し、手作りカレンダーをいただいた。
7月	NPO 法人未来図書館	「未来パスポート」プロジェクトの講師として滝沢第二中学校の生徒と交流した。
8月	巣子自治会	地域の夏祭りへ会場提供し、入居者もお祭りへ参加した。
9月	滝沢山車祭り	巣子地区の山車神輿を鑑賞した。
1～3月	巣子保育園	園児が来設し、手作りカレンダーをいただいた。
1月	巣子保育園	園児が来設し、みずき団子の木をいただいた。
3月	巣子保育園	年長組園児へお菓子をプレゼントする。

（5）研修報告

施設内共通研修（ケアハウス、介護付、居宅、通所）

実施月	研修名	参加人数
5月	「身体拘束廃止・高齢者虐待防止」について	16名
	「倫理・法令順守・プライバシー保護」について	17名
6月	新人・異動者研修	1名
	「事故発生・予防と再発防止（基礎編）」について	8名
	「転倒・転落等の緊急対応」について	9名
	「腰痛予防」について	10名
	「メンタルヘルス」について	10名
	「感染症・食中毒防止」について	6名
8月	監督職（主任・係長）	6名
9月	認知症ケア（実践）研修	6名
10月	「職場におけるハラスメント対策」について	14名
11月	「感染症予防・蔓延防止」について	20名
	「チームアプローチと多職種連携・協働」について	15名
	「身体拘束廃止・高齢者虐待防止」について	17名
12月	「非常災害時の対応」について	16名
1・2月	「PPE着脱訓練」について	4名
2月	「腰痛体操」について	9名
3月	「令和6年介護報酬改定事業者向け説明会」	3名

## 施設外研修 ケアハウス（一般・介護付）

実施月	研修名	主催者	参加人数
6月	誤嚥事故防止予防セミナー（オンライン）	（公益）全国老人福祉施設協議会	2名
	こんな言い方を付けて?! 部下と上司のコミュニケーション ～「ハラスメント」と言われないために～	岩手働き方改革推進支援センター	1名
7月	意思決定支援とソーシャルワーク（オンライン）	岩手県医療ソーシャルワーカー協会	1名
	医療機関・高齢者施設向け研修会	一般社団法人岩手県医師会、一般社 会法人盛岡医師会、岩手県	1名
	令和5年度事業計画（BCP）策定セミナー	岩手県社会福祉法人経営者協議会	1名
	第10回 やまぼうしネットワーク会議 5自治体合同 認知症シンポジウム	やまぼうしネットワーク	1名
	令和5年度 第1回 滝沢市北部地域ネットワーク会議	滝沢市地域包括支援センター	2名
8月	令和5年度介護保険サービス事業所及び有 料老人ホーム集団指導について（オンライン）	盛岡広域振興局	5名
	令和5年度 都道府県経営協セミナー	岩手県社会福祉協議会、社会福祉法 人経営者協議会	1名
9月	高齢者施設等にかかる感染症対策講習会	岩手県県央保健所	1名
	令和5年度社会福祉法人サポートセミナー	岩手県長寿社会課	1名
10月	「アンガーマネジメント」 ～怒りの感情と上手につき合うコツ～	岩手県社会福祉協議会 岩手福祉人 材センター	1名
	令和5年度福祉サービス苦情解決情報交換 会（応用研修）	岩手県福祉サービス運営適正化委員 会	1名
	第35回東北ブロック軽費老人ホーム施設 長及び職員研究大会（ZOOM）	東北ブロック軽費老人ホーム協議会	1名
	小型車両系建設機械（整地等）運転業務 特別教育	公社）ボイラクレーン安全協会	2名
	社会福祉従事者研修リーダー研修会	岩手県社会福祉協議会	1名
11月	成年後見制度の実務について	松実会地域包括支援センター	1名
1月	「エルダー・メンター制度導入研修会」	岩手県社会福祉協議会 岩手福祉人材センター	1名
	病院・施設等向け新型コロナウイルス感染 症対策研修会	岩手医科大学宇付属病院	1名
	BCP作成（入所系）ひな形を活用したBCP （事業継続計画）の作り方（ZOOM）	厚生労働省	1名
2月	令和5年度 第16回 岩手県青少年・社会教育関係者研究集会	岩手県青少年会館（フラッペいわて）	1名
2,3月	令和5年度岩手県高齢者権利擁護看護実務 者研修	岩手県社会福祉士会	1名

3月	令和5年度岩手県社会福祉協議会社会福祉 経営者協議会総会	社会福祉法人岩手県社会福祉協議会	1名
	厚生労働省 令和5年度 介護BCP策定支援セミナー 机上訓練	厚生労働省	2名

(5) 苦情 … 1件

苦情概要	<p>5月31日、郵便局員より入居者宛の現金書留を預り、入居者が不在だったため金庫へ保管する。受け取った職員は他職員へ申し送りせずに退勤した。</p> <p>入居者は、現金書留が届かないため、送り主に確認すると「送った」と回答があった。施設スタッフに確認すると、受け取った職員が休日だったため、対応が遅くなった。送り主に催促の連絡をして不快な思いをさせた事や施設職員の連携がうまくいっていない事への不安や不満があり、担当ケアマネージャー（地域包括支援センター）へ連絡した。</p>
施設から 本人	<p>翌日早々に謝罪し、郵便物は当日に必ず配布する事、不在時などは申し送りをする。一人で作業せずにダブルチェックを行う事をお伝えする。担当ケアマネージャー（滝沢市地域包括支援センター）に報告し、送り主へ謝罪の連絡を入れ、本人は納得される。</p>

(6) 身体拘束 … 0件

(7) 事故報告 … 1件

内容	左上腕骨近位端骨折・左肩脱臼
事故概要	<p>10月30日深夜、トイレに行こうとした際、眩暈がして転倒。朝食時にも痛みがあったため、本人より職員へ転倒したことを伝える。痛みが強かったため、病院を受診し骨折と脱臼の診断を受けた。ギプスで固定し、施設で療養生活することとなった。（行政報告済）</p>
施設から 家族	<p>本人から家族へ連絡を行った。施設職員も受診に同行し、今後の環境整備と施設での療養について相談した。「今後ともよろしく願いいたします。」とのこと。その後も家族と連携し受診送迎や療養の対応を行った。</p>

## 【第2種社会福祉事業】

### ・松実会指定通所介護事業所

事業目標に対しての評価

事業目標	事業方針	評価
<p>住み慣れた地域で生活が継続できるように、より身近にサービスを提供します。</p>	<p>① 利用者の在宅における自立と身体機能維持を通所介護計画に基づいて目指していく。</p> <p>② 利用者が安心してサービスが継続できるように家族、地域、関係機関と定期の運営推進会議を開催し、情報を共有しながら連携を図り、より地域性を構築していきます。</p> <p>③ 利用者、家族に対し、サービスの提供方法等について、懇切丁寧に説明し同意を得る。</p> <p>④ 適切な感染予防対策を講じ、安心・安全なサービス提供を行う。</p>	<p>① 通所介護計画に基づき、在宅生活が継続できるよう、自立と身体機能の維持に努めた。小規模事業所の良さとして行き届いたサービスを提供する事ができた。</p> <p>② 年2回の推進会議を開催する事ができた。事業所の活動報告を行い、運営推進委員から沢山の意見をいただき、情報交換する事ができた。</p> <p>③ 介護認定の変更に伴う料金説明やサービスの提供方法等について本人と家族に丁寧に説明し同意を得た。</p> <p>④ 利用者や職員のコロナウイルス感染があったが、家族からの早めの連絡や情報提供等により、事業所内に持ち込む事なくサービスを提供する事ができた。</p>

## (1) 通所介護目標への取り組み

目標利用人数 10 名設定で営業したが、併設施設のコロナクラスター発生に伴い、令和5年4月に2日、令和6年3月に1日と合計3日間の営業中止措置と、合算で4週間ほど営業縮小期間があった。また、冬期間は入院やショートステイを利用する方が多く1日平均8.0名の利用率となった。

利用者の感染もあつが、家族から早めの連絡や情報提供等により事業所内での感染が無く営業することができた。また、感染対策を行いながら行事や外出機能訓練も通常通り実施することができた。

### 利用状況 通所介護事業

#### 利用者の推移

定員：10名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
稼働日数	20	23	22	21	23	21	22	22	21	20	21	20	256	21.3
要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
要支援2	4	13	12	10	12	11	11	13	9	8	9	0	112	10.2
要介護1	33	62	66	57	57	51	44	37	39	35	32	27	540	45.0
要介護2	55	91	81	78	84	82	97	88	85	75	75	71	962	80.2
要介護3	7	27	22	29	23	25	28	30	21	39	35	34	320	26.7
要介護4	10	14	14	12	14	13	13	13	11	0	0	0	114	12.7
要介護5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
利用者実人数	25	24	26	24	24	25	24	22	21	22	22	19	278	23.2
利用者延人数	109	207	195	186	190	182	193	181	165	157	151	132	2,048	170.7
前年度	171	153	192	181	184	190	183	186	183	168	177	194	2,162	180.2
平均介護度	1.9	1.9	1.8	1.9	1.9	1.9	2.0	2.0	1.9	1.9	1.9	2.1		1.9
1日平均利用者数	5.5	9.0	8.9	8.9	8.3	8.7	8.8	8.2	7.9	7.9	7.2	6.6		8.0

## (2) 活動の基本方針

目標達成に向けて次の方針に基づき活動した。

- ① 介護サービスの提供に当たり、懇切丁寧に行うことを旨とし、利用者、家族にサービス提供方法等について理解を得られるよう説明を行う。
- ② ケアプランナーに対して利用者の状況等情報を還元する。
- ③ 通所介護職員全員による接客対応の学習会を行い、介護技術等の向上を図る。
- ④ 地域内、近隣市町村の通所介護事業者および居宅介護支援事業者との連絡、交流を緊密に図る。

### (年間行事)

開催月	行事名	行事内容
4月	お花見ドライブ	コロナクラスター発生のため、未実施。
5月	山菜とり	職員自宅農場へ行き、大きく育ったワラビやフキを収穫した。
	通所運動会	一週間、チーム対抗で運動会を行い、職員の借り物競争は大いに盛り上がった。
6月	あじさいドライブ	雫石方面の紫陽花ロードへドライブに出かけ、綺麗に咲いた紫陽花を観覧した。
7月	納涼会	抽選会や屋台、職員の「さんさ踊り」鑑賞等、納涼会へ参加した。

8月	地域の方との情報交換会	令和5年度第1回目の運営推進会議を開催し、デイサービスの活動報告、地域の方との情報交換を行った。
9月	長寿を祝う会	毎年恒例の職員余興の披露、手作りの記念品贈呈を行い、今後の健康祈願と長寿を祝った。
10月	紅葉ドライブ（野外機能訓練）	盛岡方面へ出かけ、綺麗に色づいた紅葉を観覧した。
12月	クリスマス忘年会	デイサービスで過ごした一年間をスライドショーで振り返り、毎年恒例の職員の余興を披露した。
1月	新年会	祝い善を食べながら新年を皆で祝った。
2月	運営推進会議	地域の方々と様々な情報を意見交換した。
3月	ひな祭りクッキング会	施設内、コロナ感染拡大に伴い中止。

【その他の行事】

通所…農園（春から秋期間）、共同制作活動（毎月）

（3）地域との交流促進

ボランティアとの親交や、地域との交流促進への取り組み

実施月	団体名	内 容
4～3月 (毎月)	棠子保育園	園児が来設し、手作りカレンダーをいただいた。
1月	棠子保育園	園児が来設し、みずき団子の木をいただいた。

（4）研修報告

施設内研修

ケアハウス内部研修と同じ

施設外研修

実施月	研修名	主催者	参加人数
4月	地域ネットワーク会議	滝沢市地域包括支援センター	1名
	不適切ケアの理解と虐待防止	介護労働安定センター	1名
6月	みんなでなくそうハラスメント	岩手働き方改革推進支センター	1名
11月	成年後見制度の実務について	松実会地域包括支援センター	1名
12月	苦情解決情報交換会（基礎研修）	岩手県社会福祉協議会	1名
1月	BCP作成（通所系）ひな形を活用したBCP（業務継続計画）の作り方	厚生労働省	1名
	厚生労働省 令和5年度 介護BCP策定支援セミナー 机上訓練	厚生労働省	2名

（5）苦情 … 0件

（6）身体拘束 … 0件

（7）事故報告 … 0件

## 【公益事業】

### ・介護付ケアハウス巣子事業（特定施設入居者生活介護）

事業目標に対しての評価

事業目標	事業方針	評価
特定施設サービス計画に基づき、入居者各々の個別ニーズを把握し、その方らしくやすらぎのもてる安心した生活が維持できるよう支援致します。	<p>① 入居者の意思を確認し、機能訓練を実施して残存機能の維持・向上に努めます。</p> <p>② 入居者のニーズに寄り添った行事・レクリエーションを企画して、日常生活の中に楽しみ生きがいを持って頂けるように努めます。</p> <p>③ 関係市町村、他の保健・医療・福祉サービスとの綿密な連携を図り総合的なサービスの提供に努めます。</p>	<p>① 会話の端々に入居者への意思確認の声かけが行われ、介護者との相互理解の中で生活リハビリが実施できていたため、今後も継続していく。</p> <p>② 感染対策上、最低限の行事になったが、その中でも外出行事や出前行事等楽しく生活が出来るように工夫ができた。次年度は積極的な活動を企画したい。</p> <p>③ 介護相談員の来設が継続できた。また、地域ケア会議への参加など他の事業所との連携も図る事ができた。</p>

○入居者階層内訳

階層 区分	対象収入		事務費	月別人数												計
				4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
1	ご夫婦入居 (減免対象)		¥7,000	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
	1,500,000	円以下	¥10,000	17	17	17	19	19	19	19	19	19	19	19	19	222
2	1,500,001	円～	¥13,000	3	3	3	4	4	4	4	3	4	4	4	4	44
	1,600,000	円以下														
3	1,600,001	円～	¥16,000	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	1,700,000	円以下														
4	1,700,001	円～	¥19,000	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	15
	1,800,000	円以下														
5	1,800,001	円～	¥22,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	1,900,000	円以下														
6	1,900,001	円～	¥25,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2,000,000	円以下														
7	2,000,001	円～	¥30,000	1	1	1	0	0	0	0	1	1	1	1	1	8
	2,100,000	円以下														
8	2,100,001	円～	¥35,000	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
	2,200,000	円以下														
9	2,200,001	円～	¥40,000	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
	2,300,000	円以下														
10	2,300,001	円～	¥45,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2,400,000	円以下														
11	2,400,001	円～	¥47,423	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2,500,000	円以下														
12	2,500,001	円～	¥47,423	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	7
合計				30	30	30	30	30	30	30	29	30	30	30	30	359

※ご夫婦で入居の場合は、ご夫婦の収入合計を2で除した金額で階層が決定します。ただし、金額が 150 万円以下となった場合は、事務費が減免対象額の 7,000 円となります。

**(1) 入居者の確保への取り組み／要支援・要介護の状況**

入居者定員数 30 名の維持確保に取り組んだ結果、月平均 29.9 名の実績を得た。

**入居者の推移**

定員：30名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
要支援 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
要支援 2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
要介護 1	240	248	240	248	186	180	186	205	217	217	205	248	2,620	218.3
要介護 2	360	341	330	341	372	360	378	371	434	434	406	434	4,561	380.1
要介護 3	210	248	240	248	248	240	243	210	186	155	145	155	2,528	210.7
要介護 4	60	62	60	62	93	90	122	90	93	124	114	93	1,063	88.6
要介護 5	30	31	30	31	31	30	1	0	0	0	0	0	184	26.3
合計	900	930	900	930	930	900	930	876	930	930	870	930	10,956	913
前年度	899	911	900	921	930	900	930	892	918	930	840	930	10,901	908.4
平均介護度	2.2	2.2	2.2	2.2	2.4	2.4	2.3	2.2	2.2	2.2	2.2	2.1		2.2

**(2) 入退居の状況**

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
入居	0	0	0	0	0	0	3	2	0	0	1	0	6	0.5
退居	0	0	0	0	0	0	4	1	0	0	1	1	7	0.6

(主な入居理由) ケアハウス巣子一般・老人保健施設からの住み替え

(主な退居理由) 医療的ケア必要になった、特別養護老人ホーム入居、死亡退居のため

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
死亡	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0.1
長期入院	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	1	4	0.3
他施設	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	2	0.2
家庭復帰	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

**(3) 提供サービス充実への取り組み**

一般型のサービス提供と同様の対応に加え、特定施設入居者生活介護計画に基づき、身体面、精神面、環境面を考慮した個別のサービス計画を作成し、日常生活の自立支援に向けた取り組みを行うことができた。また、各種委員会と個別カンファレンスを通じ、職員の資質向上に向けた取り組みができた。

事業から生じた剰余金は社会福祉事業へ 17,000 千円の繰り入れを行った。

(4) 苦情 … 1件

苦情概要	担当職員と事前に外出について相談をしていたが、申し送り不備のため、当日対応した職員が外出する事を認識しておらず、スムーズに外出ができなかった。数日後、家族より「いつもであれば連絡が行き届いている施設なのにびっくりいたしました。」との葉書が施設長に届いた。至急、外出受付票から当日職員への申し送り等を確認し改善策を検討した。
施設から 家族	葉書が届いた同日に家族へ電話連絡し、当日対応について謝罪する。施設長より家族へ謝罪の手紙を送ると後日、家族より「今後ともよろしく申し上げます」と葉書を頂いた。

(6) 身体拘束 … 0件

(7) 事故報告 … 3件

内容	頭部硬膜下血腫にて手術実施
事故概要	4月2日早朝、本人から「居室内で転倒した」と話があった。腰部の痛み、後頭部に軽度浮腫があり経過観察していたがその後の様子（言動・行動）に明らかな異変があったため、4月5日救急病院を受診し、上記診断を受け緊急手術となった。（行政報告済）
施設から 家族	本人から転倒の話を受けた後、家族へ一報をいれ、様子観察をする旨を伝えていた。5日の緊急受診、手術の際は家族がドクターから説明を受け、施設へ連絡いただいた。入院加療後、退院し、今まで通り生活することができている。居室内の移動動作の環境を見直し転倒予防に努める等、家族と連携を取っている。

内容	第12胸椎圧迫骨折
事故概要	4月29日夕方、居室よりナースコールがあり、ベッド脇床に長座位でいる所を発見する。「洗濯物をたたんでベッドに戻る時にテレビの前で滑って転んでしまった。」とのこと。歩行車はテレビの前にブレーキがかかっていない状態で置かれていた。翌日も痛みが続いたため、病院を受診。背部・腰部レントゲン撮影し、胸椎圧迫骨折（12胸骨）の診断となる。骨粗鬆症の既往もあるため、いつのものか不明。服薬・貼薬で様子観察となった。5月15日、病院受診し経過良好。施設で経過観察の指示を受ける。（行政報告済）
施設から 家族	4月30日、転倒事故とその後の経過ついて、娘（キーパーソン）へ報告する。痛みが続いているため、5月1日に病院受診する旨を伝える。その後は病院受診の都度、看護師より家族へ経過報告を行う。「かえって、ご迷惑をお掛けして申し訳ありません。今後もよろしく申し上げます。」との事。

内容	第三腰椎圧迫骨折
事故概要	12月1日、定期受診と腰痛のため受診。腰部レントゲン実施し、第三腰椎圧迫骨折の診断。最近潰れて出現した疼痛なのか、いつのものか不明との事。痛み止めの内服と湿布貼布で経過観察し、疼痛続くようであれば再受診と診断された。 受診日まで「何だか今日は腰が痛いようだ」と数分おきに同じ訴えを繰り返していたが歩いていた。状況を確認するも「転んだかどうかわからない。どうしたんだか。」との事で状況確認できず受診となった。
施設から 家族	同日、キーパーソンへ連絡し受診結果を報告。「県外在住のため、病院受診の対応ありがとうございます。携帯電話で時々話すが、毎回同じ話を何度も何度もするんです。認知症もだいぶ進んでいると感じています。ご迷惑をお掛けしますが、よろしく申し上げます。」と話された。痛み止め14日分処方、痛み軽減し飲み切り中止となる。

・松実会指定居宅介護支援事業

事業目標に対しての評価

事業目標	事業方針	評価
<p>利用者、家族の在宅における生活意向を考慮したケアプランを作成する。</p>	<p>① 利用者に対し、個々の解決すべき課題、その心身の状況や置かれている環境等に応じて、保健・医療・福祉にわたる指定居宅サービス等が、多様なサービス提供主体により、総合的かつ効率的に提供されるよう努める。</p> <p>② 利用者や家族からの相談、依頼があった場合には、利用者自身の立場に立ち、住み慣れた地域で日常生活を営むことができるよう、利用者や家族の意向をもとに地域資源も考慮したケアプランの原案を作成する。</p> <p>③ 利用者および家族自らの選択に基づき、適切な保健・医療・福祉サービスが提供されるよう努め、利用者本位、公正中立な立場での業務を実施する。</p>	<p>① 目標を意識して、アセスメントの上、利用者・家族の意向を考慮したケアプランの作成を実施した。サービスの選択および推薦に際しては、公正中立な立場での業務を実施し、医療との連携にも積極的に取り組むことができた。</p> <p>② 地域包括ケアシステムを意識し、地域力を考慮したケアプランの作成に努めた。今後も社会資源把握に取り組みながら、地域との連携に努める必要があると思われる。</p> <p>③ 利用者本位、公正中立な立場での業務実施に努め、適切なサービスへのアプローチを実施した。</p>
<p>ケアマネジメントの質の向上を図る。</p>	<p>① 計画的に外部・内部の研修に参加し知識・技術の習得を行う。</p> <p>② 苦情・要望等には苦情窓口を設け事実確認、改善の検討を行い、ケアマネジメントの質の向上に努める。</p> <p>③ 主任ケアマネージャーは、当事業所だけでなく、地域のケアマネの人材育成に協力する。</p> <p>④ 24 時間連絡体制を確保し、必要に応じて利用者、家族からの相談に対応する。</p>	<p>① 外部研修は、状況によりオンラインを活用し、出来る限り参加した。内部研修にも毎回参加し、知識・技術の向上に努めた。</p> <p>② 要望があった場合は速やかに対応するとともに、事業所内でも会議を持ち改善策を検討した。</p> <p>③ 主任ケアマネージャーは、事業所合同の勉強会主催に協力し、地域のケアマネに対する人材育成に取り組んだ。</p> <p>④ 当番制で 24 時間連絡可能な携帯電話を受け持ち、必要に応じ相談に対応した。</p>

<p>市からの委託業務を行い、また地域包括支援センターと連携し、地域に貢献する事が出来る。</p>	<p>① 滝沢市在住の高齢者の心身状況や家庭環境について、潜在的な問題、ニーズ等を把握し介護予防の対応に努める。</p> <p>② 介護相談を随時、受け「地域包括支援センター」との連携を図る。</p> <p>③ 認定調査や介護予防支援事業を行うとともに、順次移行する事業へ対応し、地域包括ケアシステムの構築へ貢献する。</p>	<p>① 地域の情報収集に努め、適時介護予防の対応に努めた。</p> <p>② 地域包括支援センターと連携し、適時同行訪問や情報交換等を行った。</p> <p>③ 滝沢市や他の市町村からの委託依頼を受け、認定調査や支援事業を実施し、地域包括ケアシステムの構築に貢献した。</p>
---	---	---

### (1) ケアプラン作成目標への取り組み

目標達成できなかった要因として、介護支援専門員の年度途中の退職、要支援者利用の委託件数増加、要介護認定結果の遅延、入院や施設入所の増加、要介護から要支援への変更などが考えらる。新規利用者は可能な限り受け入れをしたが、サービス利用に繋がらなかったケースも散見し、目標達成に至らなかった。研修や勉強会等に参加しながら各々の資質向上を目指して取り組むことが出来たのは良かった点である。今後に向けて地域包括支援センターや各関係機関との連携を強化し、目標達成に向けて取り組んでいく。

居宅介護支援事業所 利用状況

(件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
ケアプラン作成	190	190	194	191	189	205	194	203	189	187	194	184	2,310	192.5
前年度	206	205	204	203	203	204	200	204	204	199	182	185	2,399	199.9
新規	7	5	7	9	11	10	5	3	6	7	7	7	84	7.0
中止	2	1	9	1	3	3	4	5	5	1	3	3	40	3.3
終了	1	4	12	6	7	3	5	4	10	8	3	6	69	5.8
認定調査	10	13	12	6	4	8	7	6	6	3	9	8	92	7.7
平均介護度	1.8	1.7	1.8	1.7	1.7	1.8	1.7	1.8	1.7	1.7	1.7	1.6		1.72

### (2) ケアプラン作成の基本方針

ケアプラン作成に当たっては、「その利用者が可能な限り自宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう配慮する」という基本方針に基づき、利用者及び家族の要望を尊重して作成しました。

### (3) 研修報告

施設内研修

ケアハウス内部研修に同じ

施設外研修

実施月	研修名	主催者	参加人数
6月	介護保険制度改正の現状と今後の方向性について ケアマネの主張：ケアマネジメントの実践回顧	岩手地区介護支援専門員協議会	1名
	介護保険制度の見直しについて 新型コロナウイルス感染症のおさらい ケアマネジメントにおける倫理 意思決定支援 事例研究：個別事例から地域課題を捉えるために	岩手県介護支援専門員協議会	2名
	市内居宅介護支援事業所勉強会 (事例検討会)	滝沢市居宅介護支援事業所	2名
	在宅医療機器について	フランスベッド(株)メディカル盛岡営業所	6名
7月	VR 認知症体感会	パナソニック	4名
	心肺蘇生と AED のつかい方	岩手西北医師会、滝沢市地域包括支援センター	1名
	介護支援専門員研修 専門Ⅰ	いきいき岩手支援財団	1名
8月	市内居宅勉強会(事例研究)	市内居宅事業所	2名
9月	介護支援専門員研修 専門Ⅱ	いきいき岩手支援財団	1名
10月	地域ネットワーク会議(ACP、言語障害がある方への支援)	滝沢市地域包括支援センター	3名
	フレイル予防栄養学、フレイルと口腔嚥下機能	岩手地区介護支援専門員協議会	1名
	福祉用具展示会、講演「ケアする人のケア」	日本福祉用具供給協会 東北支部	1名
11月	地域ネットワーク会議「成年後見制度」	松実会地域包括支援センター	1名
12月	「適切なケアマネジメント技法」「実践報告・グループワーク」「R6 年度介護報酬改定情報提供」	岩手県介護支援専門員協議会	1名
	市内居宅介護支援事業所勉強会(事例検討)	滝沢市内居宅介護支援事業所	2名
1月	介護従事者のための業務継続計画(オンライン)	厚生労働省	1名
2月	居宅介護支援事業所情報交換会	滝沢市地域包括支援センター	1名
3月	仕事力 UP セミナー「アルコール依存症について」	滝沢市地域包括支援センター	1名
	介護のみらい☆シンポジウム「これからの介護保険・個人情報保護法とプライバシー保護・職業倫理と法令順守・認知症ケア」	サンメディカル	1名
	令和6年介護報酬改定事業者向け説明会(オンライン)	岩手県保健福祉部長寿社会課	3名
	令和6年介護報酬改定説明会	岩手県介護支援専門員協会	1名